



ドキュメンタリー制作から見た民主主義

立憲民主党の小川淳也議員(現・幹事長)の活動を、2003年の初出馬から17年間追ったドキュメンタリー映画『なぜ君は総理大臣になれないのか』、その続編にあたる『香川1区』の制作を通じて知りえた、政治や選挙の実情について解説します。安倍晋三元首相の国葬が行われた2022年9月27日には、全国10か所でカメラを回して映画『国葬の日』を作りました。ここで見た「日本人の意識」について語ります。

大島 新

〈ドキュメンタリー監督〉

2025/7/6(日)
14:00-16:00 開場13:30

塩尻市市民交流センター
(えんぱーく) 3階 多目的ホール

定員 /130人(先着順) 参加費 /無料

申し込み

申込開始 : 5月23日(金)

本館総合カウンター、電話 (0263-53-3365)、メール (下記参照) のいずれかでお申込みください。

- 宛 先 tosho@city.shiojiri.lg.jp
件 名 「7/6 本の寺子屋申込」
本 文 1 参加者全員の氏名 (フリガナ)
2 代表者電話番号
3 お住まいの地区
4 この講演会を知ったきっかけ



大島 新 (おおしま・あらた)

1969年神奈川県生まれ。1995年早稲田大学卒業後フジテレビに勤務。1999年フリーになり、MBS「情熱大陸」フジテレビ「ザ・ノンフィクション」など数多くのテレビドキュメンタリーを手掛ける。2007年初の映画監督作品『シアトリカル 唐十郎と劇団唐組の記録』を発表。2009年映像製作会社ネツゲンを設立。以後、監督・プロデュース作品多数。主な監督作品に『なぜ君は総理大臣になれないのか』(2020)、『香川1区』(2022)、『国葬の日』(2023)。著書に『ドキュメンタリーの舞台裏』(文藝春秋)。2024年より東京工芸大学教授。